

[普及事項]

成果情報名：アスパラガス半促成栽培における斑点性病害（褐斑病、斑点病）に対する防除対策

研究機関名 農業試験場 生産環境部 病害虫担当
担当者 齋藤隆明・渡辺恭平・他1名

[要約]

アスパラガス半促成栽培において、斑点性病害（褐斑病、斑点病）による被害を抑えるための薬剤防除は、6月中旬と下旬に1回ずつ、それ以降は10月中旬まで約14日間隔で行うことが必要である。

[キーワード]

アスパラガス・半促成栽培・斑点性病害・防除対策

[普及対象範囲]

県内全域

[ねらい]

秋田県のアスパラガス半促成栽培の主要病害は、斑点性病害である褐斑病と斑点病であり、多発すると早期落葉や黄化を招く。そこで、斑点性病害の被害を抑える防除体系を検討する。

[成果の内容及び特徴]

- 1 薬剤防除を6月中旬と下旬に1回ずつ、9月中旬～10月中旬に約14日間隔で行う。6月下旬～9月上旬までの防除を約14日間隔、約21日間隔と比較した場合、約14日間隔の方が斑点性病害の発生を安定して低く抑えることができる（表1、図1）。
- 2 以上のことから、アスパラガスの斑点性病害に対する薬剤防除は6月中旬と下旬に行い、それ以降は10月中旬まで防除を約14日間隔で行うことが必要である。

[成果の活用上の留意点]

- 1 本試験は、2022年に農業試験場内ほ場と現地ほ場、2023年に農業試験場内ほ場で行った。
- 2 2021年～2022年のアスパラガス半促成栽培における病害発生実態調査では、主要な病害は斑点性病害（褐斑病、斑点病）であり、初発時期が6月下旬であり、薬剤防除を6月中旬から行う必要がある（令和4年度実用化できる試験研究成果）。
- 3 供試した薬剤は、アスパラガス褐斑病と斑点病の両病害に登録がある薬剤を選定した。
- 4 過剰な立基本数や、施設内の通気が悪い場合、薬剤防除を行っても斑点性病害が多発することがあるため、耕種的対策を十分に講じた上で薬剤防除を行う必要がある。

[具体的なデータ等]

表 1 各処理区の構成

処理区 ³⁾	薬剤防除日 ¹⁾												
	2022年(農試) ²⁾	6/15	6/24	7/8	7/15	7/22	8/5	8/19	8/26	9/1	9/15	9/30	10/15
	2022年(現地)	6/15	6/24	7/8	7/15	7/22	8/6	8/20	8/27	9/1	9/14	10/3	10/15
	2023年(農試)	6/16	6/25	7/10	7/16	7/22	8/5	8/18	8/25	8/31	9/15	9/30	10/14
14日	ダコ ⁴⁾	ラリー	ロブ	—	コサ	ダコ	コサ	—	コサ	ダコ	アフエ	ダコ	
21日	ダコ	ラリー	—	ロブ	—	ダコ	—	コサ	—	ダコ	アフエ	ダコ	
無処理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1) 薬剤防除は登録内容の希釈倍数とし、散布液量は300L/10aとした。

2) 農試：農業試験場内ほ場、現地：現地ほ場

3) 現地ほ場では、無処理区を設置していない。

4) アフェ：アフェットフロアブル、コサ：コサイド3000、ダコ：ダコニール1000、ラリー：ラリー水和剤、ロブ：ロブラール水和剤、—：防除なし

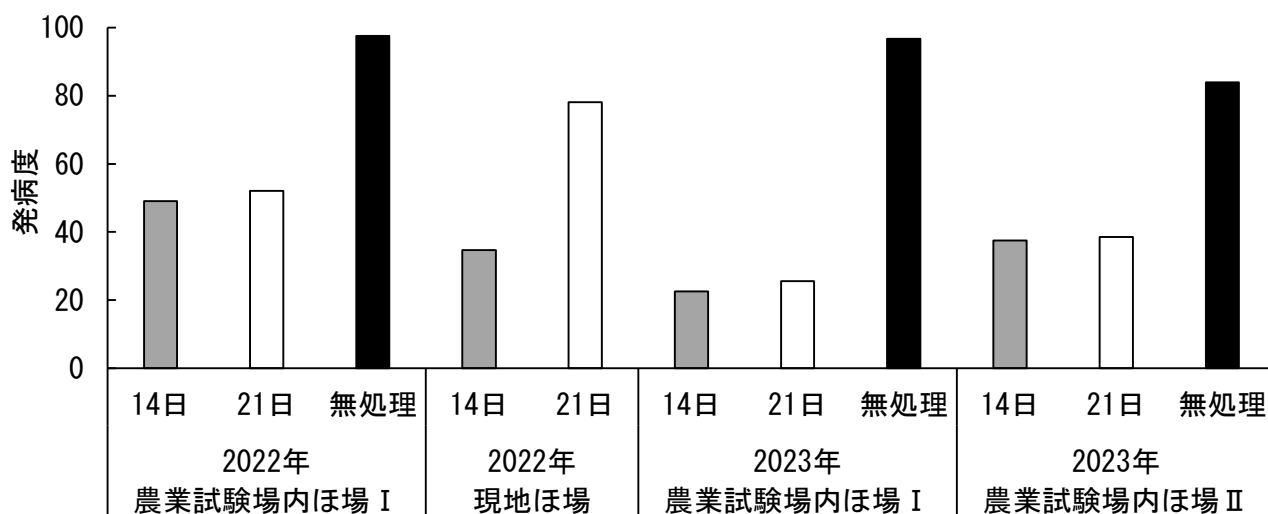


図 1 防除間隔の違いによる発病状況

○試験ほ場の耕種概要

- ・ほ場 I (農業試験場内 褐斑病、斑点病混発ほ場) 品種：「ウェルカム」、定植年：2019 年
 - ・ほ場 II (農業試験場内 斑点病単独ほ場) 品種：「ウェルカム」、定植年：2017 年
 - ・現地ほ場 (由利本荘市矢島 褐斑病、斑点病混発ほ場) 品種「ウェルカム」、定植年 2017 年
- ※いずれのほ場も、立茎本数 3~4 本/株、ハウスシートは紫外線除去フィルムを使用。

1) 調査月日 農業試験場内ほ場：11月7日、現地ほ場：11月10日

2) 調査方法

- ・アスパラガスの茎を無作為に 6 本選び、上位 10 側枝 (計 60 側枝) を対象として以下の発病指数にしたがって調査し、発病度を算出。
- ・発病度 = $\sum (\text{発病指数} \times \text{側枝数}) \times 100 / (\text{調査側枝数} \times 4)$
- ・斑点性病害の調査基準
 指数 0 発病を認めない、指数 1 側枝の被害擬葉が 5% 未満、又は側枝に 4 個以下の病斑がある、指数 2 // 5~25% 未満、又は // 15 個以下の病斑がある、指数 3 // 25~50% 未満、指数 4 // 50% 以上
- ・調査データは、3 反復または 3 地点の平均値。

[その他]

研究課題名：先端技術を活用した新たな園芸作物病害虫防除技術の開発

研究期間：令和元年度～令和 5 年度

予算区分：県単

掲載誌等：アスパラガス半促成栽培マニュアル (2024)